

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	中小企業課長 野坂 一弥	電話番号	0852-22-5881
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	中小企業協同組合等に対する直接融資事務（中小企業高度化融資）		
目的	(1) 対象	事業の共同化、協業化、集団化等をめざす県内の組合又は組合員	
	(2) 意図	必要な資金の調達を通じて、事業の共同化、協業化、集団化を進める	
事業概要	高度化事業による事業者への必要な資金の貸付を行うとともに、円滑な事業運営を支援するため、診断助言を行う。また、貸付先に対する適切な債権管理を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 年間の新規融資件数と診断助言件数の合計	目標値		34.0	34.0	34.0	34.0	件
		取組目標値						
	式・定義 融資実績+診断助言件数=合計(件数)	実績値	33.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	10,239	11,887
うち一般財源(千円)	10,239	11,887

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 新規融資は1件（前年度からの継続案件 B方式） 高度化事業既存の組合等に対する診断・助言を行い、経営改善を進めている。 既存高度化資金の条件変更及び債権回収を行い、事業の適正な実施を図っている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

条件変更など経営計画の見直しが適切に行なわれた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <p>経営環境が厳しくなる中、経営計画の見直しが一層困難となる場合も多い。また、延滞の債権回収が困難となる場合も多い。</p> <p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 競争環境の激化などにより経営内容が厳しい組合等が増加 経営者の高齢化、連帯保証人の高齢化など <p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 組合及び組合員の経営改善 職員の支援能力の向上 金融機関出身者（経験者）の活用

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 経営課題を有する事業者に対して、専門家派遣の実施や中央会と連携した支援を継続。 貸付金の条件変更要請には柔軟に対応。 債権管理については、個別案件ごとに計画的、継続的な管理を行なう。

9. 追加評価（任意記載）

--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。